

〈広報〉
第41号
令和6年
2月10日

青山小学校区 コミ協だより

Comi-Kyo-DAYORI in Aoyama elementary school district

青山小学校区
コミュニティ
協議会
新潟市西区青山6-16-20
☎025 (233) 2990



地域を知り、関心を深める活動

青山小学校

地域と学校 ウェルカム参観日

十一月二十二日(水)午後、青山小学校にて「地域と学校 ウェルカム参観日」が開催されました。テーマは、子どもたちと一緒に青山地域のよさを考える！です。とても心温まる「新潟市 地域と学校パートナーシップ事業」となりました。

地域からは、セーフティスタッフ、学校ボランティアア、学校運営協議会、自治会長、民生児童委員など、約九十名の出席がありました。ウェルカム参観日に向けて、子どもたちが地域を知り、関心を深めるための活動を九月、十月から開始していました。また参観日以後にも、クロマツの苗の植樹体験や松林の美化活動を実施したとのことです。



参観日は、三部構成になっています。第一部「ボランティアさん」に感謝を伝える会、第二部「全学級授業参観」、第三部「地域の方と職員との懇談会」でした。

第一部の感謝を伝える会は、校長先生の挨拶、ボランティア紹介、ボランティア代表のお話と続き、次の六年生による全身で熱く語る感謝の言葉に感心し、さらに全学年による校歌斉唱では、そのすばらしさに驚か

されました。元気な子どもたちから、もたらされた感動に、こちらこそ感謝したい思いでした。

第二部の授業参観、各学年に分かれての課題について話し合いました。1年生から6年生が事前に話し合ったテーマの発表と地域参加者の意見交換で盛り上がりました。

第三部の懇談会では、学校と地域が関係を深めることがいかに大切か、学ばせてもらいました。

子どもたちが地域の人と共に、活動(自然、社会、文化など)に参加する機会、これは地域の人々の地道な努力によるものです。

能登半島地震

どう対応？

を受けて…

新年早々(元旦)の能登半島地震に関連して、青山小学校は災害発生時の学校の取り組み内容についてまとめた「学校だより」10号を発行した。骨子の一部を紹介しします。



まずは地震発生に伴う児童の安全確保。第一に避難、次いで児童の安全確認、避難後の学校対応―事故などの緊急児童に関する病院対応、保護者への連絡、警察、教育委員会など関係機関への連絡、被害の情報収集など―保護者への児童引き渡しの一連の取り組みを実践する。津波については4階以上への全校避難を指導する。震度(5弱以上、同4以下)の強弱の状況を見て対応を判断する。

「ふだん」できないことは

「まさか」のときにもできない



ハウス施設管理に貢献 青山コミハウス管理人二人に

● 浦山 中村 求さん ● 関屋堀割町 廣瀬ゆみ子さん

西区の発展などに功績のあった団体や個人に贈られる西区功労者表彰に青山コミユニテイハウスの管理人二人が選ばれました。二〇二三年十一月十八日の表彰式（黒埼市民会館）で西区感謝状が贈られました。二人は青山小学校校区コミ協から推薦された中村求さん、浦山と、廣瀬ゆみ子さん、関屋堀割町。両氏は同ハウス管理人として施設の維持管理に



従事し、地域の文化、社会活動を側面から支えています。ハウスの利用率向上に貢献する一方、ハウス利用者に対する細かい配慮と対応、自治会、町内会のハウス利用に関する適切な応対が高く評価され、推薦につながりました。中村さんは前歴から電気、音響関係に明るく、ハウスのパソコンを含めた電気機器に伴う業務に知力を発揮、併せて温厚な人柄と勤務態度が評価されました。

廣瀬さんは金融関係の経験を生かしてコミ協の会計業務を担当、明るくソフトな性格が好評、高齢者や女性が多数を占めるハウス利用者の相談や話し相手にもなって業務に当たっています。



西有明町第一自治会

地域融和を目指して

会長 島崎浩一

私がこの地に住み始めた六十数年前は、まだ黒松の植林も関屋分水も無く、住宅も数えるほどで旧信楽園病院が郊外バスの終点でした。今では住宅密集地となり、数多くの新町名が出来、青山・真砂小学校も創立され、子供たちの元気な声が聞こえる町となりました。

当自治会も例外無く少子高齢化が顕著ですが、西有明町第一・第二の二町内に跨るボランティア「西有明町福祉の会」が高齢者の見守りや友愛訪問を実施。また自治会では、子供たちの花火の集い、芋掘会の他、高齢・出産・七五三等のお祝い事業を実施しております。中でも十一月三日の文化の日には、グループホームマナの家と共に、作品展、各種イベントを実施し、地域の融和に努めております。当自治会役員任期は一年交代ですが退任後も、引き続き地域づくりに参加していきたいと思っております。

地域のお茶の間を訪ねて

Series 10

有明児童センター

子供たちの城、地域の宝物



私は2人の子供の成長を振り返る時必ず思い出す事がある。

娘は昨日までは親送迎の保育園児、小学生の今日からは一人で「行ってき



まーす」とわき目もふらず児童センターへ走って行った。息子は保育園卒園前「ぼく学校は申込みないけど児童センターは申し込むよ」と。これまで我が家を含めて、どれ程の子どもと親たち有明児童センターで楽しみ、そして助けられたのだろう。

小熊センター長を訪ねて

児童センターに十代目センター長の小熊先生をたずねた。

「センター登録児童は二〇〇人。一日の利用は約一六〇人。青山小の6割が利用。職員は十二名。児童の安全を守るため一〜三年生は原則保護者の迎えに。コロナ禍の全国一斉休校時は、感染防止対応で留守家庭児童のみを受け入れた。利用児童の感染拡大で数日の閉鎖もあった。体育館も3密回避の生活の場として使用。しゃべるな・くっつくな・集まるな、を合言葉にすこし

た日々。ようやく二〇二三年十二月よりコロナ以前対応にほぼもどしている」と。

勤務年数三十八年の忘れえぬ事柄は「地域全体を使つての忍びこっこ・利用児が親になって子供を連れて訪ねてきた時」と話して頂いた。

利用者の反応

●利用児童四年生K子さん

「学年関係なくたくさん友達と仲良くでき遊べる。いろんな材料で作りのものをしたり、友達同士でのゲームが楽しい。勉強も教えてくれる」と笑顔。

●お迎え祖母Sさん

「多くの友達とかわり、学び、安心できる子供達の居場所、ありがたしい」

●自治会役員Mさん

「事業協会の収支を見た時、沢山の金額が児童センターに注がれていて驚きありがたいと思った。子育てと共働きに良い地域だ」

小熊センター長は「これから又、ボランティア受け入れをしたい」との事。お手伝い出来る方はよろしくお願いいたします。

《有明児童センターの設立と目的》

県内初の児童センターとして昭和55（1980）年オープン。次代を担う児童の健やかな育成と地域児童の福祉推進を目的として設置。学童クラブ（放課後児童）、児童健全育成（ジョギング、サッカーなど）、地域子育て（未就園児と保護者）三本柱の趣旨でスタートした。



令和6年度 定期利用サークル一覧

令和6年2月10日現在

※利用団体名の頭部○印は会員募集をしているサークルです。

募集	利用団体名	内 容	代表者名	電 話
月 曜 日				
○	Adagio	ヨガ	樋 口	090-5558-2300
○	glamorous&charm	ジャズヒップホップダンス	樋 口	090-5558-2300
○	満月会	日本民謡を楽しむ	鈴 木	080-1101-0236
○	有明フラダンス	フラダンス	笠 原	260-1732
○	カ・フラ・オ・ナー・ブアケア	フラダンス	浅 妻	090-8033-5177
○	アカシアクラブ	卓球の練習	井 村	267-2654
	英語で歌おう	英語教室	募 集 な し	
	着付け藤の会	着物の着付け		
	風の会	麻雀		
火 曜 日				
○	士衛塾	青少年の空手道	木 村	080-1070-4929
○	3B健康体操	健康体操	中 澤	379-2026
○	楽ら〜くヨガ	ヨガ	土 屋	070-3542-1212
○	花ルーチェ	四季の花のアレンジメント	新 村	230-4377
	太極拳青山会	太極拳	募 集 な し	
	卓球・体操サークル	ラジオ体操・卓球		
	火曜ニットサークル	編物		
	民謡ひまわり会	民謡の唄・三味線		
	ダンス高田	ダンス		
水 曜 日				
○	生花草月流	生花教室	藤 井	258-3106
○	永田宏行と歌おう「うた声広場」	懐かしい歌を歌おう	永 田	090-4029-2456
○	Adagio	ヨガ	樋 口	090-5558-2300
○	歌の教室・ミルテの花	ヴォイストレーニング&歌唱法	外 山	090-5775-1472
○	カ・フラ・オ・ナー・ブアケア	フラダンス	浅 妻	090-8033-5177
○	水曜編物	編物教室	藤 井	258-3106
○	絵手紙「かきたいな」	絵手紙で日常を楽しむ	内 山	コミハウスへ
	民謡さずな会	民謡の練習	募 集 な し	
	さわやか3B体操	健康体操		
	ヨーガの会	ヨガ		
	千鳥会	麻雀		

募集	利用団体名	内 容	代表者名	電 話
木 曜 日				
○	浦山囲碁クラブ	囲碁	川 本	267-2416
○	墨彩画教室	墨彩画の学習	藤 井	0256-72-3038
○	アトリエHANA	フラワーアレンジメント教室	清 瀬	090-3756-3587
○	体幹トレーニングの会	ヨガ	青 柳	090-2650-9916
○	アカシアクラブ	卓球の練習	井 村	267-2654
○	beデコルテ	健康体操	小 林	070-6446-8702
	めぐみ会	バイオリンの練習	募 集 な し	
	たちばな会	麻雀		
	親和カラオケ	カラオケ		
	グラマラス	体操		
金 曜 日				
○	フラワーサークルラベンダー	生け花・プリザードフラワー・フラワーアレンジメント	石 田	090-1435-6075
○	はせがわ着物教室	着物の着付け	長谷川	090-2422-7561
○	キンヨウカイ	茶話会	野 村	265-1548
○	山沢詩吟教室	詩吟の勉強	山 沢	233-6672
○	歌の教室・ミルテの花	ヴォイストレーニング&歌唱法	外 山	090-5775-1472
○	幸風会ペン習字教室	ペン習字	高 橋	090-1435-0908
	青山さくら会	茶話会	募 集 な し	
	フライデー	麻雀		
	坂井輪診療所健康友の会	月例会		
土 曜 日				
○	箏の会	箏の練習	五十嵐	267-4613
○	浦山囲碁クラブ	囲碁	川 本	267-2416
○	カ・フラ・オ・ナー・ブアケア	フラダンス	浅 妻	090-8033-5177
○	はせがわ着物教室	着物の着付け	長谷川	090-2422-7561
	ハートコミュニケーションスペース青山	グループカウンセリングの勉強会	募 集 な し	

※実施時間帯や詳細は代表者、または
青山コミュニティハウス(233-2990)
に照会をお願いします。



氏名の訂正とお詫び

第40号の一面「ふれあいの集い」の記事でミスがありました。包括支援センター小新・小針「矢野所長」は「矢田センター長」の誤りでした。訂正し、関係者に深くお詫び申し上げます。

1面「ふれあいの集い」浦山地区の来賓紹介の文中

包括支援センター小新・小針

誤) 矢野所長



正) 矢田センター長

長はじめ、スタッフも一部若返りへ。新しい時代に沿った感覚でフレッシュな広報誌づくりを目指してスタッフ一同頑張っていきます。

お知らせ

Information

コミ協だより発行の広報部のスタッフが次号四十二号から一部交代します。八十代の広報部長はじめ、スタッフも一部若返りへ。新しい時代に沿った感覚でフレッシュな広報誌づくりを目指してスタッフ一同頑張っていきます。

編

集

後

記



平賀巳代治 記

※この広報誌は新潟市の助成金を受けて発行しています。